

【出題意図】

食・栄養・健康に関する実態や課題について、図表から情報を読み取り、自分の意見を述べる形式を基本としています。

◆求められる力◆

- ・グラフや表等の数値データを適切に読み解く（要点に沿って具体的な数値を示す）
- ・指定された字数で話の流れを作って、時間内に記述する（指定された文字数の9割以上が目安）
- ・論理的で首尾一貫した文章を書く（問題文の指示に従い、読み取った事実の記述とそれに対する自身の考えを基本に論理展開する。また、適切な表現、言葉遣い、文章構成を意識する）
- ・適切な表題をつける

出題年度：2024 年度

【模範解答】（解答のポイント）

<問 1>

1. グラフから読み取れること（食中毒の発生状況）

食中毒の発生件数は月によって変動し、10月が約100件と最も多いことがわかる。

2. 細菌による食中毒の影響

夏場ほどではないが、秋はまだ高温多湿の日があり、細菌が増えやすい環境が続く。さらに、運動会や遠足等屋外で弁当を食べる機会が増え、適切な保存がされないとリスクが高まる。作り置き鍋料理等も適切な管理が必要である。

3. 寄生虫・自然毒の影響

秋はサバやサケ等の魚を生食する機会が増え、アニサキスによる食中毒が発生しやすい。また、キノコ狩りや山菜採りのシーズンで、毒キノコや有害な野草の誤食事故も増加すると考えられる。

4. 予防策の重要性

食品の適切な保存・加熱、手洗いの徹底等基本的な衛生管理が必要である。寄生虫や自然毒のリスクを減らすため、正しい知識を身につけることも重要である。